

# (工学研究科)

## 公益財団法人 上原記念生命科学財団 2023 年度来日研究生助成金候補者の募集

2023. 7. 14

### 1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 2023 年 9 月から 2024 年 4 月に大学院博士課程（前期・後期）に入学予定の者、或いは既に在籍している者。  
※ 既に在籍している者は、助成開始（2024 年 1 月）時点での在籍残期間が 1 年以上の者。
- 2) 募集開始時点で日本での滞在期間が 3 年以内の者。
- 3) 募集開始時点で 39 歳以下の者。 4) 他の奨学金を受給しない者。
- 5) 申請時に確実に日本にいる者。
- 6) 生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する諸分野の研究をする者。  
（生体情報学、生体医工学、生体材料学など）  
※ 研究分野の詳細については募集要項（2. 助成対象課題）を参照のこと。

### 2 奨学金の金額・期間

月額 15 万円・2 年以内

- ※ 助成期間は 1 年以上ですが、前期課程と後期課程にまたがって受給することはできません。

### 3 提出書類

本応募について「申請者」は受入責任者（指導教員）、  
「助成金交付対象者」は受給者（留学生）を指します。

- 1) 申請書①～④（①～③は [eng-mon@grp.tohoku.ac.jp](mailto:eng-mon@grp.tohoku.ac.jp) に Word 様式データを提出）
  - ① 基本情報入力シート（日本語で作成、一部項目に文字制限あり）
  - ② 研究内容・推薦理由入力シート（日本語で作成、文字サイズ 11 以上で入力し必ず 1 ページに収めること）
  - ③ 論文リスト（助成候補者に論文がある場合のみ）
  - ④ The Uehara Memorial Foundation Research Fellowship Program（日付、署名以外は PC 入力可）
- 2) 推薦書（任意様式、英文以外のものは和訳、または英訳を添付）  
※ 申請時点で来日しており、指導教員が申請者と同一の場合は省略可。署名要。
- 3) 応募事由書（任意様式、A4 用紙 1 枚程度、助成候補者が作成）
- 4) 直近の成績証明書（母国等で発行のものは写しで可。別紙の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した係数を余白に記入すること。）
- 5) 経済状況調書（所定様式、2023 年 8 月 1 日現在で作成）
- 6) 在留カードの写し（両面）
- 7) 私費外国人留学生身上調書（指定用紙） 8) 家計状況申告書（指定用紙）  
※ 7)～8) は、2023 年 4 月以降に、他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。

4 推薦人数 工学研究科から 1 名

5 申請書類の提出先 工学研究科教務課国際交流係（中央棟 3F）

6 締切日 2023 年 8 月 3 日（木）

※助成期間に他奨学金に受給が決定している者、または申請中の者（直接応募含む）は推薦対象外です。

# 上原記念生命科学財団

## 2023年度 来日研究生助成金 募集要項

1. 趣旨	生命科学の分野におけるわが国および諸外国相互の研究の発展と国際交流の推進に寄与することを目的とする。
2. 助成対象課題	生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する以下の諸領域の研究 (A) 領域 東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般 (B) 領域 基礎医学（上記以外） (C) 領域 臨床医学（ 〃 ） (D) 領域 生命科学と情報学、工学、材料学などとの融合
3. 実施要領	わが国の大学院に入学するために来日する、あるいは既に大学院に在籍している者に対して、滞在費として助成金を交付する。
4. 助成金 交付対象者	2023年9月から2024年4月にわが国の大学院博士課程（前期/後期）に入学するために来日する者、あるいは既に大学院に在籍する大学院生で、生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する研究を行い、次の条件をいずれも満たす者。但し、過去に当財団の来日研究生助成金を受領した者は対象外とする。 （申請時点で大学院入試を受験していない者および合否が未定の者でも応募可能とする。不合格となった場合は当財団へ申請取り下げの連絡をすること。）  (1) 日本以外の国籍を有する者 (2) 滞在費として他の奨学金、助成金等を受けていない者 (3) 募集開始時点で日本での滞在期間が通算3年以内の者 (4) 募集開始時点で39歳以下の者 (5) 助成開始から1年以上の研究を行う者
5. 申請者および 推薦者	助成候補者の指導担当教官が大学長の推薦を得て申請する。 なお、推薦は1大学につき1件とする。
6. 助成期間	助成期間は2年以内とする。 既に大学院に在籍中および2023年の秋入学（前期課程から後期課程進学を含む）の者は、2024年1月からの助成とする。また、2024年4月入学（前期課程から後期課程進学を含む）の者は2024年4月からの助成とする。  注1) 助成期間は1年以上とする。2024年1月から課程修了まで1年未満の場合は応募対象外。 注2) 大学院博士前期課程と後期課程にまたがって助成することはできない。
7. 助成金額および 助成方法	月額15万円とし、原則として受入機関または指導担当教官を通じて一括で支払う。 助成件数は10件の予定。

8. 応募方法	当財団ホームページ ( <a href="https://www.ueharazaidan.or.jp">https://www.ueharazaidan.or.jp</a> ) の助成金 Web 申請のページより応募する。
9. 応募締切日	2023年9月4日(月)
10. 選考方法	当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。
11. 採否の通知	2023年12月13日(予定)に採択者をホームページに掲載の上、採択通知を郵送する。
12. 報告の義務	助成期間終了時に、収支決算報告書および修学または研究結果の報告書を当財団に提出する。
13. その他	<p>(1) 申請書に記載の個人情報は、選考手続・選考委員への提供、選考結果の連絡および公表、当財団事業等の案内に利用することがある。但し、利用は目的の達成に必要な範囲で行う。</p> <p>(2) 申請書は採否に関らず一切返却しない。</p> <p>(3) 虚偽の申請や報告を行った場合、或いは、受領した助成金によって実施された研究に関して不正行為があった場合には、助成金の返金を求めることがある。</p>

# 専門分野一覧表

## 【生命科学部門】

領域		専門分野
<p><b>東洋医学、体力医学、社会医学</b> <b>栄養学、薬学一般</b></p> <p>*社会医学は公衆衛生学、法医学、産業医学、環境医学、疫学、地域医学等を含む</p>	健康科学系	A101 東洋医学 A102 体力医学 A103 社会医学* A104 栄養学 A105 看護学 A199 その他 健康科学系
	薬学化学系	A201 薬剤学 A202 薬品物理化学 A203 薬品合成化学 A204 天然物・微生物化学 A205 薬品分析学 A206 ケミカルバイオロジー A299 その他 薬学化学系
<b>基礎医学</b>		B101 生化学 B102 分子生物学 B103 細胞生物学 B104 生物物理学 B201 人類遺伝学 B202 発生生物学 B203 微生物学・ウイルス学 B204 免疫学 B205 癌腫瘍生化学 B206 放射線基礎医学 B207 生物学 B208 解剖学 B209 脳科学 B301 生理学 B302 毒性学 B303 薬理学 B304 病理学 B305 医動物学 B999 その他 基礎医学・基礎生命科学系

領域		専門分野
臨床医学	内科学系	C101 循環器内科学 C102 消化器内科学 C103 呼吸器内科学 C104 神経内科学 C105 腎臓内科学 C106 血液内科学 C107 代謝内分泌内科学 C108 膠原病・アレルギー内科学 C109 感染症内科学 C110 臨床腫瘍学 C111 老年医学 C112 小児内科学 C113 心療内科学 C114 精神神経科学 C115 皮膚科学 C116 放射線科学 C117 臨床検査学 C199 その他 内科学系
	外科学系	C201 胸部外科学 C202 消化器外科学 C203 脳神経外科学 C204 整形外科学 C205 形成外科学 C206 口腔外科学 C207 小児外科学 C208 産婦人科学 C209 眼科学 C210 耳鼻咽喉科学 C211 泌尿器科学 C212 輸血学 C213 麻酔科学 C214 臓器移植学 C215 臨床歯科学 C216 リハビリテーション医学 C299 その他 外科学系

### 【生命科学と他分野との融合部門】

領域	専門分野
生命科学と他分野との融合	D1 生体情報系 D2 生体医工系 D3 生体材料系

## 別紙

### 成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

## －奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

### 1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

### 2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
  - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。  
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
  - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
  - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
  - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
  - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
  - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
  - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

### 3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。  
・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

\*2023年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 私費外国人留学生身上調書

### 1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字 )				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前 の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での移動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所		)		

### 2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

\*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

\*

\*2023年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 家計状況申告書

在籍	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
氏名				

### 家計状況

\* 2022年4月から2023年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。  
 \* 2022年10月入学の場合は2022年10月から2023年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他( )	円	その他( )	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

-----

-----

-----

### 奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)  
 \* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

\*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2021年 ○○奨学金)

--

### 授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

年	期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2023	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
2022	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
2021	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった